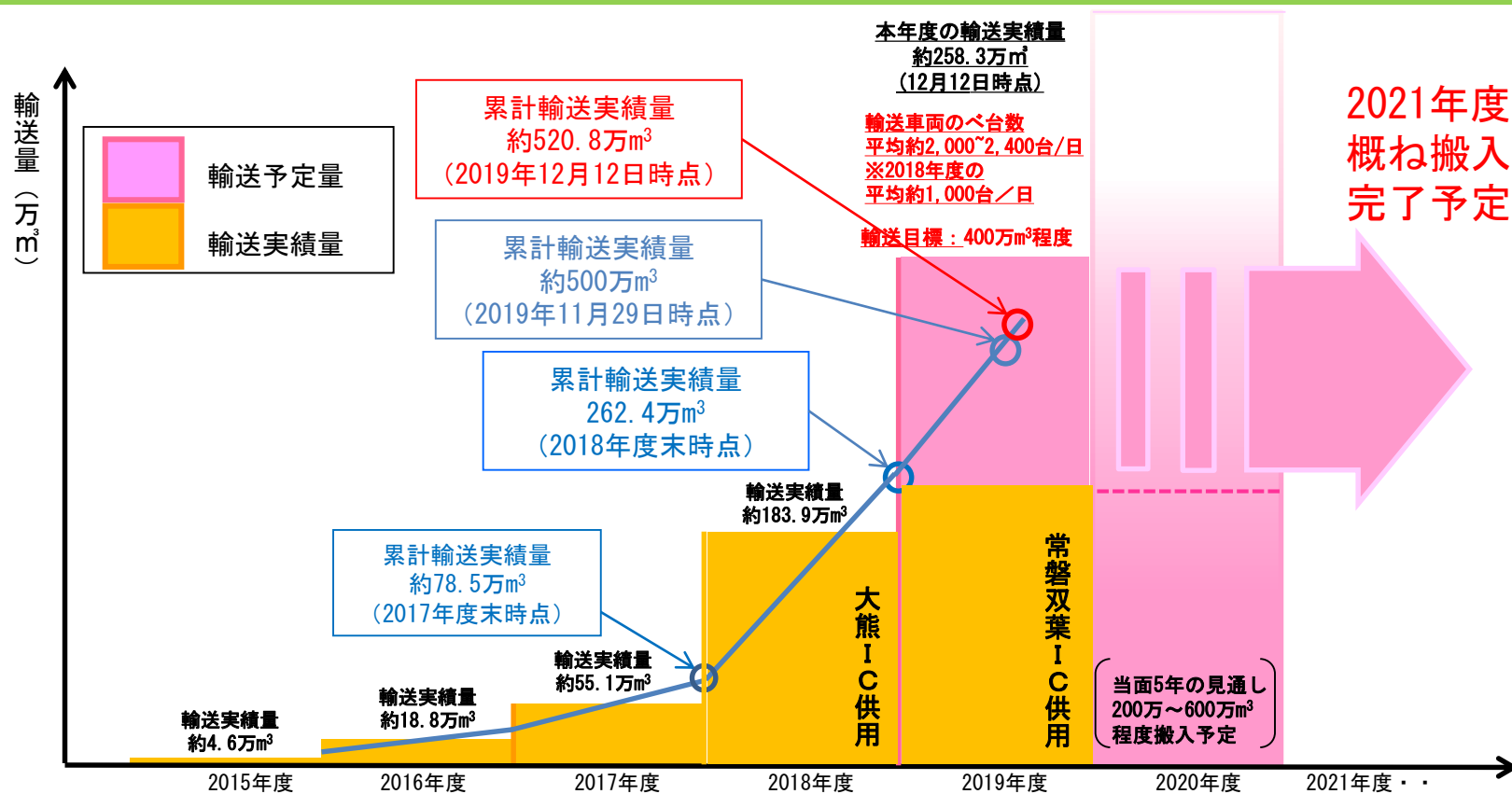


中間貯蔵施設への輸送及び整備状況について

令和元年12月19日
環境省

中間貯蔵施設への輸送について

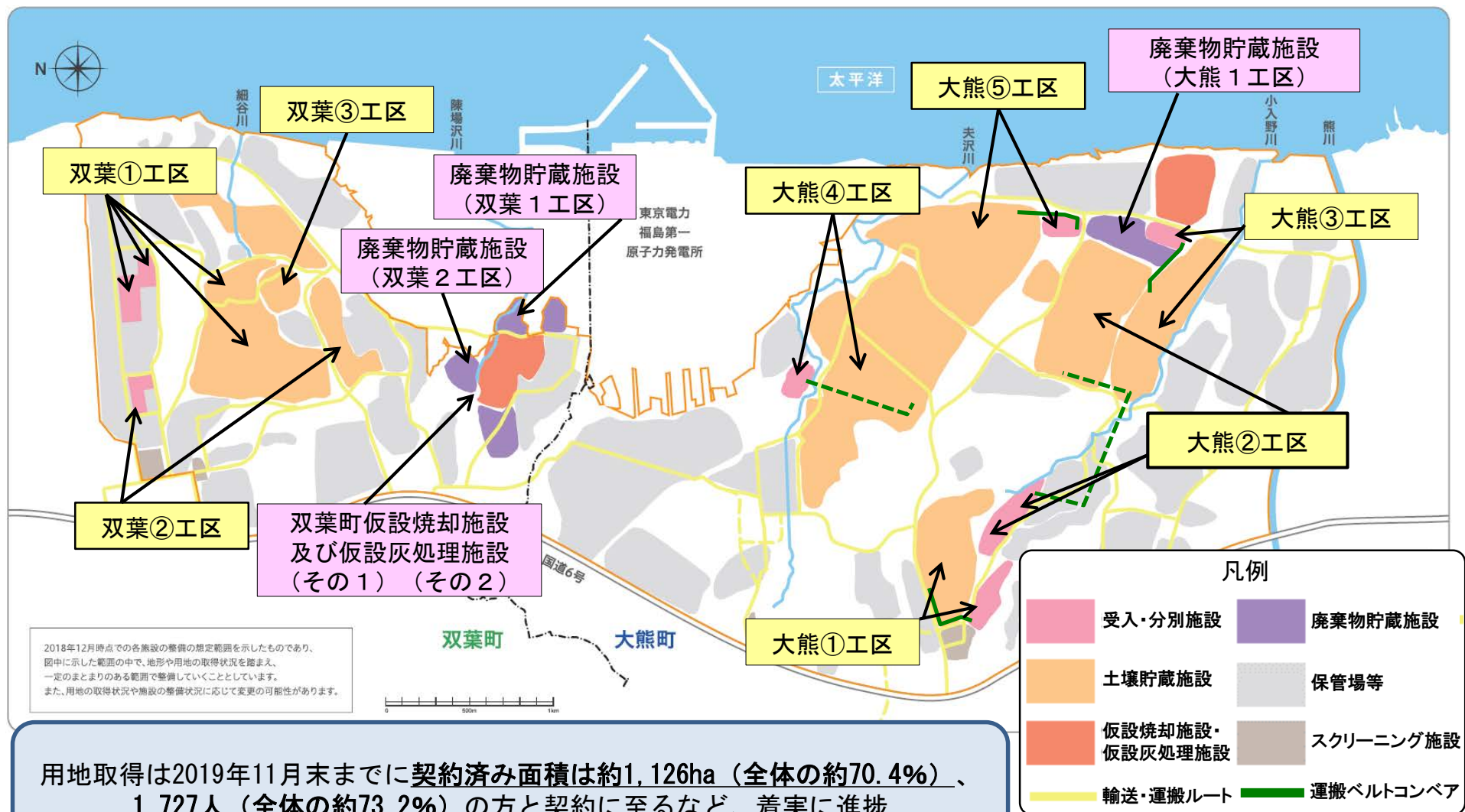
- 輸送対象物量（※）1400万 m^3 の中間貯蔵施設への搬入に向け、用地や施設整備等の状況を踏まえて、輸送量は段階的に拡大。※2019年10月時点
- ・ 2019年度は、400万 m^3 程度を輸送する。2020年前半までには幹線道路沿いや身近な場所から仮置場をなくすことを目指す。
- ・ 2021年度までに、県内に仮置きされている除去土壌等（帰還困難区域を除く）の概ね搬入完了を目指す。



(出所) 2016年3月に公表した中間貯蔵施設に係る「当面5年間の見通し」に、2015~2018年度の輸送量実績及び2019年度の中間貯蔵施設事業の方針で示した2019年度(予定値)の輸送量を追記。

* 大熊ICが本年3月31日に開通したことを受け、中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に利用(700台/日程度)。

中間貯蔵施設(施設の位置と整備の進捗状況)



受入・分別施設及び土壌貯蔵施設の概要（2019年11月30日時点）

工区	大熊①工区	大熊②工区	大熊③工区	大熊④工区	大熊⑤工区	双葉①工区	双葉②工区	双葉③工区
受入・分別施設数 ^{※1}	1	2	1	1	1	2	1	—
土壌貯蔵容量 ^{※2}	約100万 ³ m	約330万 ³ m	約140万 ³ m	約140万 ³ m	約200万 ³ m	約140万 ³ m	約90万 ³ m	約80万 ³ m
着工	2017年 9月着工	2016年 11月着工	2017年 11月着工	2018年 10月着工	2018年 10月着工	2016年 11月着工	2018年 1月着工	2018年 9月着工
受入・分別施設スケジュール	2018年7月 運転開始	2017年8月 2018年7月 運転開始	2018年7月 運転開始	2019年8月 運転開始	2019年8月 運転開始	2017年6月 2018年9月 運転開始	2019年2月 運転開始	(なし)
土壌貯蔵施設スケジュール	2018年7月 運転開始	2017年10月 運転開始	2018年10月 運転開始	2019年冬 以降 運転開始予定	2019年4月 運転開始	2017年12月 運転開始	2019年5月 運転開始	2019年秋 以降 運転開始予定
受注者	鹿島JV	清水JV	大林JV	清水JV	大林JV	前田JV	大成JV	安藤・間JV
貯蔵量 ^{※3}	24.8万 ³ m	63.4万 ³ m	23.7万 ³ m	—	11.4万 ³ m	18.5万 ³ m	9.9万 ³ m	—

※1 発注時の1施設当たりの処理能力は140t/時。双葉③工区は、受入・分別施設を整備していない。

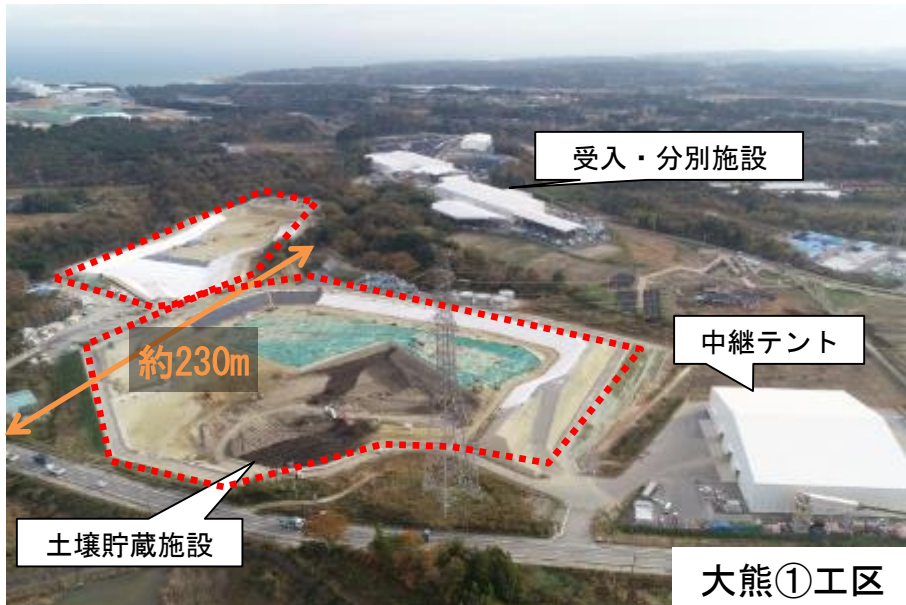
※2 貯蔵容量は、仮置場等からの輸送量ベース（1袋＝1³mで換算）。用地確保状況等により変更となる可能性がある。

※3 貯蔵量は、土壌を締め固め後の量として計算。

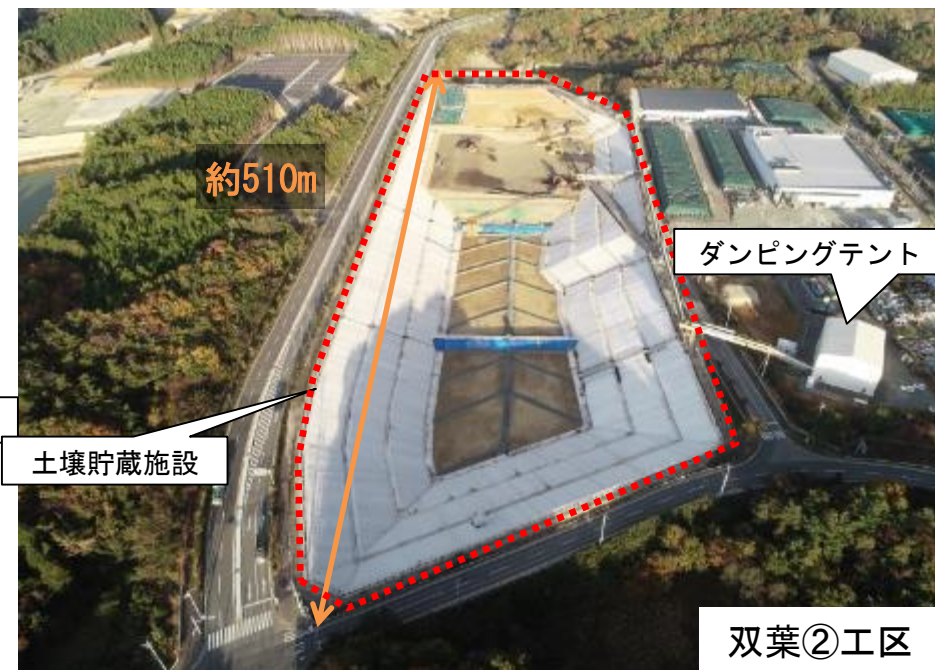
受入・分別施設の整備状況



土壌貯蔵施設の整備状況(大熊町)



土壌貯蔵施設の整備状況(双葉町)

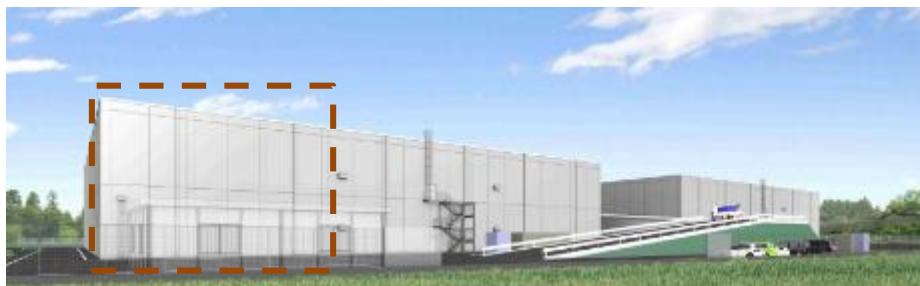


廃棄物貯蔵施設の概要

【貯蔵対象物】

- ・主に双葉町仮設灰処理施設で発生したばいじん（鋼製角形容器に封入し、積み上げて貯蔵）

工区	大熊 1 工区	双葉 1 工区	双葉 2 工区
敷地面積	約2.4ha	約2.2ha	約3.5ha
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造＋鉄骨造 （2棟）	鉄筋コンクリート造＋鉄骨造 ＋鉄骨鉄筋コンクリート造（1棟）	鉄骨鉄筋コンクリート造＋鉄骨造 （1棟）
貯蔵量	約28,800個	約14,400個	約30,000個
着工	2018年7月 造成開始 2018年12月 建築開始	2018年6月 造成開始 2018年11月 建築開始	2019年秋 着工予定(造成工事)
定置 スケジュール	2020年3月 定置開始予定	2020年3月 定置開始予定	未定
受注者	鹿島建設	大林組	鹿島建設



廃棄物貯蔵施設の完成イメージ（大熊 1 工区）



断面図イメージ

双葉工区仮設焼却施設及び仮設灰処理施設の概要・状況

【処理対象物】

- ・ 双葉町等で発生した除染廃棄物、災害廃棄物等のうち可燃性のもの
- ・ 中間貯蔵施設に搬入又は施設内で発生した焼却残さ等

工区	その1業務	その2業務
規模	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設焼却施設：150 t／日 × 1 炉 (シャフト炉) ・ 仮設灰処理施設：75 t／日 × 2 炉 (表面熔融炉) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設焼却施設：200 t／日 × 1 炉 (ストーカ炉) ・ 仮設灰処理施設：75 t／日 × 2 炉 (コークスベット式灰熔融炉)
業務用地面積	約5.7ha	約5.7ha
スケジュール	2019年度内稼働予定	2019年度内稼働予定
受注者	新日鉄・クボタ・大林組・TPTJV	JFE・前田JV



完成イメージ（その1業務）



完成イメージ（その2業務）